

学校教育目標	a3「みんながかがやくイマミっ子」 ~明るく かしく たくましく~ ○進んで学ぶ子...自ら課題を見つけ、粘り強く解決していこうとする子を育てます。(知) ○自他を大切にする子...自分も仲間も大切にし、自ら考え判断し、行動する子を育てます(徳) ○心身ともに健康な子...健康に関心をもち、心身ともにたくましい子を育てます。(体) ○まちと共に生きる子...地域や身近な人とのかかわりを大切にし、共に生きていく子を育てます(公) ○未来を切り拓いていく子...多様な価値観を認め合い、人とのコミュニケーションを大切にしながら、よりよい未来を目指す子を育てます。(開)				
	学校概要	創立 38 周年	学校長 江野澤 勝	副校長 宇田川 聡	3 学期制
児童生徒数: 367 人		主な関係校: 今宿中学校、鶴ヶ峯中学校、今宿小学校、都岡小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
a4<自分づくりに関する力> <言語能力> <協働して問題解決する力>	a5 今宿中学校 今宿小学校 都岡小学校	a6~夢をもち、何事にも一生懸命に最後まで取り組める今宿の子どもたちを育てる~ ・小中学校交流: 年2回の授業研究会を行い、互いの授業を見合う。小中一貫力育を意識した意見交換を行う。年1回の合同研修会開催(H30:児童生徒指導事例研修) ・児童生徒交流日、生徒会の学校説明、6年生の部活動体験、見学会への参加。

中期取組目標	a7 ○基礎学力の定着・学習習慣の確立 ...意欲を高める授業づくり・スキル学習の充実・授業研を中心とした授業力向上 ○規範意識の醸成 ...きょうだい学年(縦割り活動)・学年を1つのクラスと考えた共通指導体制・地域とのかかわりの充実
--------	---

重点取組分野	具体的取組
a8確かな学力	a16①スキルタイムの運用を見直し、スキル学習の場として活用できるようにする。様々な学習指導の中で、意識して言語活動を取り入れるようにする。 ②家庭学習の意義や方法を提示し、保護者の理解協力を得ながら、児童が学習の習慣をつけられるようにする。
担当 学力向上委員会	
a9豊かな心	a17①様々な人とのかかわりの中で、相手を大切にすることをはぐくむために、縦割り活動を充実させる。②道徳の授業力向上のために、授業実践を取り入れて研修をする。③豊かな感性や情操の育成のために、スケッチタイムに取り組む。(道徳部・人権福祉委員会との協働)
担当 豊かな心育成委員会	
a10健やかな体	a18①児童保健委員会や児童給食委員会の活動を充実させることにより、児童が主体的に健康についての意識を高められるようにする。②体育朝会(ラジオ体操)・休み時間の縄とび・持久走などのスポーツタイムでの活動を通して、継続的に進んで体力作りに取り組めるようにする。
担当 体力向上委員会、体育部	
a11学習指導	a19①学習意欲の向上のために、体験的な学習、問題解決的な学習の充実を図り、相手意識・目的意識をもてる学習展開の工夫をする。 ②課題をしっかりと把握し、ふり返り、まとめるといった学習の流れを定着させる。
担当 学年研究部	
a12児童指導	a20①児童支援専任への連絡・報告・相談を心がけるようにし、スタンダードの取組、組織的な対応・情報の共有化を図る。②児童運営委員会を中心にあいさつ運動に取り組む、主体的にあいさつできるようにする。
担当 児童指導部	
a13特別支援教育	a21①個別支援学級と、一般学級の連携強化に向けて、合同の打ち合わせを行い、児童の実態把握、交流に対しての考え方等共通理解し、指導の支援に生かす。②児童理解研修、特別支援研修を行い、課題を持つ児童への支援、特別支援教育について理解を深める。
担当 特別支援委員会	
a14安全管理	a22①学校生活や、登下校での安全意識を高めるために、折に触れて安全指導をするとともに、日頃から、登下校時刻を守り複数で歩くことを徹底させる。 ②校内だけでなく、通学路の安全点検も実施する。
担当 安全部	
a15	a23
担当	
いじめへの対応	a24①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業や学校行事の場面で活用する。 ②校長のリーダーシップのもと、専任教諭を中心にカウンセラー等を積極的に活用し、関係機関とも連携できる児童指導体制を構築する。③家庭訪問、連絡帳、保護者面談等の機会を設定し保護者との日常的なコミュニケーションを図る。
担当 児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	a25毎月の重点研・毎週の学年研を通して、すべての教職員が「わかる授業」を目指した授業改善に取り組む。ミドルリーダー・ベテラン教職員の支援を充実させながら、月1回のメンターチームを計画的に運営し、若手教職員の学習指導力や児童指導力の向上を図る。教務会を活用し会議等の効率的運営、業務の効率化を図る。PDCA改善のサイクルを短く取り組む。
担当 教務部	